

山口情報芸術センター [YCAM]

## YCAM Dance Crew

2021年6月26日(土)～7月25日(日)

山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティスペースほか

### YCAMにダンス映像を創作できるラボが出現

### SNSやアプリケーションの発展が生んだ新しいダンス表現の考察

山口情報芸術センター [YCAM] では、動画配信プラットフォームやスマートフォンなどのメディアテクノロジーが発展した今だからこそ生まれる、新しい身体表現に取り組むイベント「YCAM Dance Crew」を開催します。

近年のメディアテクノロジーの発展や、教育現場におけるダンスの必修化、音楽シーンにおける振付の重要性が高まるなど、ダンスシーンにはこれまでにない変革の波が押し寄せ、新しい表現やクリエイターが登場しています。

本イベントでは、メディアテクノロジーを用いたダンスを気軽に実践できる体験型の展示を開発。特殊なエフェクト（視覚効果）を合成したダンス映像を制作できます。また、会期中に開催するワークショップでは、ダンサー／振付家として国内外で活躍するReiNa（れいな）を講師に迎え、参加者がダンス映像の創作と発表に挑戦します。

メディアテクノロジーを切り口に、従来の劇場文化とは接点の少ない同時代のダンスの動向を取り上げ、そこにある新しいダンスの表現の仕方と、今後の発展のあり方を探ります。この機会にぜひご参加ください。

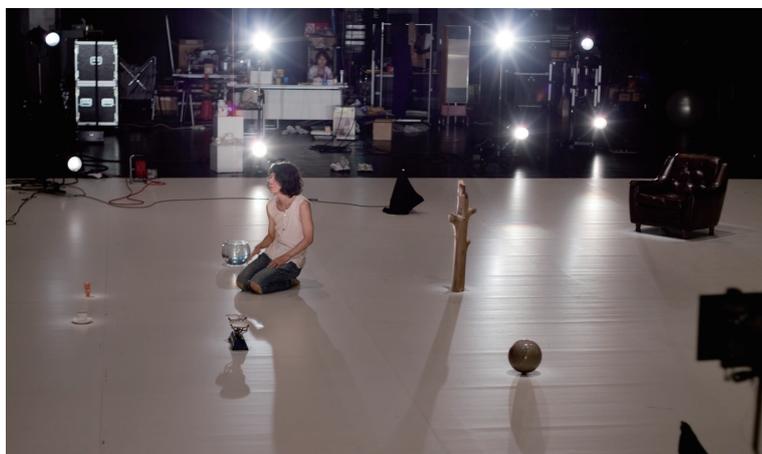


参考作品：笠原俊一＋YCAM  
《RADICAL BODIES—VRでダンス・ダンス》(2017年)  
撮影：山中慎太郎 (Qsym!)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当  
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp  
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 www.ycam.jp  
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## テクノロジーとともに変化するダンス表現



白井剛《質量, slide, & . in frames》(2011年)の制作風景

YCAMにおける、展覧会や映画上映と並ぶ活動の柱が、ダンスや演劇などのパフォーマンス作品の上演です。開館以来、国内外の優れたパフォーマンス作品を紹介するとともに、アーティストと協働しながらメディアテクノロジーを応用した新作の制作をおこなってきました。

こうした活動のなかでYCAMは、映像技術とそれを取り巻くさまざまなメディアテクノロジーの潮流を見据えながら、ダンスを映像で表現する「ビデオダンス」の系譜に連なる作品の制作にも取り組んでおり、これまでにダンサー／振付家の勅使河原三郎や白井剛とコラボレーションをしてきました。

近年のメディアテクノロジーにおいて、動画配信プラットフォームやスマートフォンの発展には目を見張るものがあり、ダンスにも大きな影響を及ぼしています。簡単にプロのダンサーの振付映像を視聴できるようになったことに加え、無数の愛好者たちが同じプラットフォームでダンスを発信できるようになり、2012年から中学校の授業においてダンスが必修となったこともあいまって、さらに多様なダンスコミュニティが生まれています。また、画像処理が高度化し、かつ簡便に扱えるようになったことで、それを前提とした新しい映像／身体表現の萌芽も見えます。

このような同時代のダンスの動向を背景に、YCAMがこれまで培ってきた身体表現のノウハウを応用しながら、メディアテクノロジーの発展と普及がもたらす新しい身体像や身体表現を模索するイベント「YCAM Dance Crew」を開催します。

### 勅使河原三郎

#### Friction of Time— Perspective Study vol.2 (2008)



新たな〈遠近法〉を探究する勅使河原三郎のビデオダンスシリーズ「Perspective Study」の2作目。

スポーツ工学や自動車安全実験、宇宙開発などで使用する高速度カメラを使用しており、そのカメラにコンピューター制御された振動デバイスによって微細な動きを与え撮影をおこなうなどの試行錯誤がおこなわれている。

### 白井 剛

#### 質量, slide, & . in frames (2011)



白井剛初のビデオダンス作品。撮影に際しては、ベースとなっているダンス作品『質量, slide, & .』(2004年初演)では伝えきることのできなかった身体の微細な動きや、舞台上に配置された物の重さ、手触り、温度を映像に描写するために、舞台上の物の配置を変更したり、身体の動きや物の移動を多角的に撮影するなどさまざまな試行錯誤がおこなわれている。

## YCAMがARを用いたダンス撮影装置を開発！



笠原俊一+ YCAM《RADICAL BODIES—VRでダンス・ダンス》(2017年)  
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

「YCAM Dance Crew」は、体験者が自身のダンスを撮影し、その映像を加工することができる体験型の展示です。

この展示では、特殊なカメラとセンサーが埋め込まれた撮影用ブースが用意されています。体験者がこの中でダンスをおこなうと、瞬時に姿勢や動きを検出され、このデータをもとに、ダンスをより个性的に見せるエフェクトを付けたり、自分の身体を自分以外のキャラクターに変更したりといったように、自分のダンス映像を演出することができます。また、作成したダンス映像は、体験者のスマートフォンに転送することができ、各自のSNSにアップロードするなど、自由に利用いただけます。

この展示を設置するのは、館内1階の入口付近のコミュニティスペースと、山口県済生会山口総合病院側のYCAMの外壁です。ここは大きなガラス面があることから、日常的に山口市内の10代から20代のダンス愛好者の練習場として活用されている場所です。ここに体験者のダンスの動きに沿ってエフェクトが現れる、新しい「鏡」が登場します。

また、会期中の土日祝日を中心にYCAMの研究開発チーム「YCAMインターラボ」のメンバーが体験者の創作をサポートします。自分が創作してみたい映像などについてそれがどう可能か、アイデアや技術について、スタッフに相談をしながら創作をすることができます。

気軽にメディアテクノロジーを活用したダンスに挑戦することができる本イベントを通じて、市内のダンス愛好者とともに、新しい身体表現が生まれる場所をつくっていきます。

### 展示設置場所



館内1階の入口付近にあるコミュニティスペース



山口県済生会山口総合病院側のYCAMの外壁

## より本格的な創作ができるワークショップも開催！

会期中には、若いダンス愛好者たちに向けて、展示を活用した創作により本格的に取り組むためのワークショップを開催します。このワークショップでは、K-POPのミュージックビデオの振付など、国内外で目覚ましい活躍する若手ダンサー／振付師であるReiNaとYCAMインターラボのスタッフを講師に、映像などを活用するからこそ可能な「ダンスの見せ方」に挑戦します。

参加者は映像で見せるための振付の方法と、映像撮影のコツや編集方法を講師から学んだ後に、チームに分かれて課題曲を元に自分たちでダンス映像の制作をおこない、発表します。講師陣から今後の創作につながるアドバイスも受けられます。今までのダンスの見せ方が進化するワークショップにぜひご参加ください。

### ReiNa



ダンサー／振付師。2001年5月生まれ。東京都出身。5歳からダンスを習う。JAZZからOLD SCHOOL、NEW SCHOOLまで幅広いジャンルを習得。フリースタイルを得意とし、キッズ時代から数々のバトルで輝かしい成績を残している。近年は振付師として海外からの依頼も多く、NCTU『MAKE A WISH』の振付ではSNS上で瞬く間に話題となった。

### 開催概要

## YCAM Dance Crew

2021年6月26日（土）～7月25日（日）11:00～19:00 火曜休館  
7月10日（土）、11日（日）はイベント開催のため展示を休止します  
会場：コミュニティスペース、北西側（山口県済生会山口総合病院側）  
外壁  
入場無料

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会 共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

## ワークショップ

2021年7月10日（土）12:00～18:30、11日（日）10:00～17:00

※2日間通し

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

参加無料 ※要事前申込（選考あり）

講師：ReiNa（ダンサー／振付師）、大脇理智（YCAM）、今野恵菜（YCAM）ほか

対象：15歳から29歳

定員：15名

持ち物：動きやすい服装、靴、飲み物。ほか、撮影が可能なスマートフォン。（あれば）

### ワークショップの申込方法

以下の方法でお申し込みください

#### ウェブサイト：

下記ウェブサイトにて用意された申込フォームに記入

[www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

#### 申込受付期間：

4月12日（月）～6月27日（日）